



令和8年7月14日

山田幼稚園

1学期もあっという間に過ぎ、まもなく終業式です。進級し、遊びや友達との関りを通して、いろいろなことを感じ取った1学期だったのではないのでしょうか。

山田川で遊んだよ・

毎日川の流れている川です。雨で増水したり、草が生えたり、その時その時の変化に気付きながら生活しています。春から川遊びに何度か行く中でいろいろな発見をし、「やってみたい」「面白そう」という意欲や好奇心の芽生えにつながっています。



まだ川の中に入って遊ぶには早い頃、川岸に虫探しに出掛けました。

小さな花を見つけたり、チョウやテントウムシを見つけたり、岸から川の中を網ですくい小さなエビやヤゴを捕まえました。

友達が捕まえる姿を見ると「捕まえない〜」と自分も何とかして捕まえたいくなります。が、思うように捕まらず…この頃は「先生、とって〜」とすぐに頼ろうとしたり、腹を立ててしまったりしていました。

5月、暖かくなり、足だけ水に浸かって生き物探し! 「冷たい」「深い」と感じたことを言葉にしながら遊びます。生き物を何とか捕まえない子どもたち、「とった」という声が聞こえると一斉にそちらの方へ移動します。その結果…「とれん」「見付からない」「どこにおるん」とちょっぴり不満な様子です。また、思うように網が扱えず「もー」とくじけてしまう姿もありました。



園長先生の「みんなで同じ所に行ったら、逃げてしまうよ」という言葉を聞き、2回目の川の中の生き物探しでは人がいない場所を探す姿が見られるようになりました。

網の持ち方は、柄の部分を持つとグニャッと曲がってしまうので、網の輪の部分を持つとよいことや、生き物は草や葉の下に隠れていることに気付き、隠れていそうな場所を狙うようになりました。何か一つでも捕まえることができると、面白さがぐっと増し、「もっと捕まえない」と先生を頼らず、繰り返し挑戦するようになりました。

待ちに待った【水着を着て山田川】の日、浮き輪に乗って川の流を感じたり、川の深さで浮き輪の進み具合の違いに気が付いたり、実際にやってみることで気付くことがたくさんあり、浮き輪で遊ぶのはこの場所がいいという最適な環境を自然に選びながら遊んでいます。

雨続きの日にはごうごうと音を立てて流れる様子を見ては「今日、入ったら流される」と毎日、川の様子を気に掛けていました。



いっぱい遊んだよ！

クリームたっぷりケーキ！！

「せーの」で吹くと
しゃぼん玉だらけ！！

雨の日も楽しい！気分
はレスキュー隊。遊ん
だ後はみんなで力を
合わせて片付けます。

ゆっくり吹くと大きくなるよ



たくさんクリームを作りました！！

ふわふわのクリームを作るためには・・・、石けんや水の量に気
付くことや、泡立て続ける根気が必要です。それぞれの学年でそ
の時の発達段階に合った楽しみ方をしています。



さくら組は石けんをすりおろすことや、たっぷりの水で混ぜることが楽しい！少しでも泡があれば、それはもう“ふわふわ”の“あわあわ”で大満足です。水を入れて泡の面が上昇すると、「泡が増えた」と笑顔で教えてくれます。とにかくいろいろな道具を使いたいので、泡立て器にすり鉢、ボウルにゴムベラ、使うか使わないかは関係なく、とりあえず手元に確保しておくとう安心のようです。



ひまわり組は、先生が作った泡でケーキやパフェを作ったり、絞り袋でクリームを絞ったりすることが楽しい！とにかく、石けんも水もたくさん入れればクリームの泡がたくさんできるという発想で、石けんの学年別消費量一位だったのではないのでしょうか。しゃばしゃばの泡でもたくさんできれば大成功！絞り袋に入れて下から漏れてきてもそんなことは気にしない。



あじさい組は、自分もふわふわの泡を作りたい！先生が作るクリームのような泡を何とかして自分でも作りたい。石けんや水の量を調整しながら遊びました。草花の汁と混ぜて色付きにしたり、カップに色の層ができるように盛り付けたり、考えたり工夫したりがいっぱい詰まっています。みんなに進んで教えてあげる姿も見られ、さすが最年長の学年であることを実感しました。

3歳の時の水たっぷりの「これ楽しい！」という経験、4歳の自分のやりたいことを存分にやってみる経験が、5歳になってじっくり遊びを楽しむ中で考えたり、繰り返し試したりという姿につながっています。

田植えをしたよ。

5月にあじさい組が幼稚園で「もみまき」をし、芽が出て伸びる様子を観察しました。水が少なくなると葉が細くなったり、カラカラになったりする変化に気付きながら霧吹きでシュッシュと水やりをしました。地域の田んぼで、田植えをさせていただきました。



米作りについて話を聞きました。昔は全部手で植えていたことを聞き、みんなビックリ！！



「えー、泥だらけ」と“はじめての第一歩”踏み出せない子どももいました



「なんだか、気持ちよくなってきた」慣れてくると、みんな植える場所の印探しに一生懸命です。



見る見るうちにコツをつかみ、歩くことも苗を植えることもなんとなくこなしていました。

田んぼの泥を見て「えー、ここに入るの」と言う子どももいましたが、すぐに慣れ、「あったかい」「トロトロ、すべすべの泥だ」と感触を味わっていました。始めは足を思うように動かすことができず、ぎこちない動きでしたが、慣れてくるとなかなかの手つきで次々と苗を植えました。苗は線の上の印が付いているところに植えます。みんなで印を探しながら力を合わせて一列一列丁寧に植えました。5本ずつに分けて植えた苗は収穫するころには20本くらいになるそうです！あじさい組は幼稚園にも自分がもみまきをした苗を植えました。たくさん収穫できるといいですね。

米作りのいろいろなことを教えていただき、田植えの経験もできました。地域の方に本当に感謝です。